

須永さとし

ごあいさつ

昨年4月に皆様のご支援で県議会に送っていただいてから、まもなく1年が経とうとしております。活動する中で、市議の時は、より地元に着目した相談や課題が多いのに対し、県の仕事は広域に渡る課題も多く、広い視野で物事を捉えることの大切さを痛感しております。

そのような中、元旦に能登半島地震が発生しました。お亡くなりになられた方々、被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。今回の災害を通じて、大規模自然災害等が発生しても、被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる、強さとしなやかさを備えた群馬県の国土強靱化を進める必要性をあらためて強く感じました。

物価高騰、人手不足・人材確保、2024年問題（物流や建設業など）、自然災害・気候変動等々課題は山積しております。交通弱者対策や買い物難民対策、子どもたちの通学路の安全確保、農業や商工業を営む方たちがどうしたら事業を継続できるのかといった様々な課題解決のためにも、皆様の声をしっかりお聞きし、声を届け、かたちにするために精一杯努力いたします。



初登庁しました

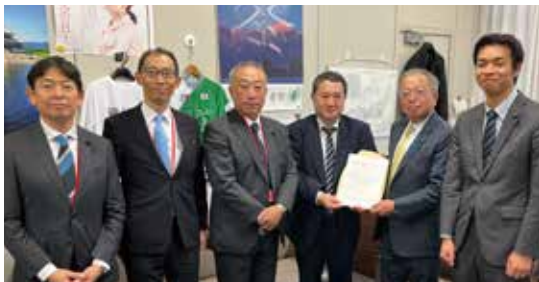
令和5年5月10日に初登庁しました。地域の皆さま、群馬県の皆さまの幸福度が上がるように、県政をもっと身近に感じられるように奮闘いたします！



第76回 群馬県植樹祭

令和5年10月21日、中之条町のイサマムラ（旧伊参小学校）で開催されました。森林を守り、育み、活かすことの大切さを発信し、緑豊かな郷土づくりを推進するためのイベントです。

国道50号前橋笠懸道路建設促進議員連盟の事務局長として要望活動



令和5年12月1日、国道50号前橋笠懸道路建設促進議員連盟の役員で、整備促進の要望活動を行ってきました。国道50号前橋笠懸道路は、県内の国道50号で唯一の2車線区間である前橋市からみどり市間において交通混雑の緩和と交通安全の確保を図ることを目的としたバイパス（一部現道拡幅）事業です。国土交通省は井野俊郎代議士と一緒に回っていただき、議員会館は12名の地元選出国會議員と2名の国土交通官僚OBの参議院議員事務所を訪問しました。国道50号は災害時の緊急輸送道路で、前橋、伊勢崎、みどり、桐生、太田など群馬県経済を支える地域をつなぐ道路でもあります。今年度はバイパス区間の橋梁の下部工事に着手するなど少しずつ形が見えてきました。

国土強靱化や地域経済の活性化につながることから加速化した事業実施を引き続き要望してまいります。

GACHi(ガチ)高校生×(かける)県議会議員～政治を知らなきヤソンをする!～で意見交換



GACHi高校生×県議会議員は、若者の政治への関心を高めるため、県議が県内の高校や高等部のある特別支援学校を訪問し、生徒と意見交換する事業です。「GACHi」は、群馬県議会アクティブ・シチズンシップ・ハイスクールの略です。

私は、令和5年12月18日、県立高崎高等特別支援学校に先輩県議と2名で伺い、来年度は有権者になる2年生の生徒さんたちと意見交換をしました。政治の仕組みの説明と〇×クイズをした後に生徒さんたちからの質問。次から次へと質問攻めで、時間内に全員の質問を聞くことができませんでした。

このような直接顔を合わせて意見交換ができる場がどんどん増えればと思います。

2023年5月29日

一般質問に立ちました

令和5年第2回定例会動画



1. 障害者福祉について

- ① 県立障害者リハビリテーションセンターについて ② 県立ふれあいスポーツプラザについて ③ 知事の所見について

Q 県立障害者リハビリテーションセンターや県立ふれあいスポーツプラザ等の福祉施設が集積するエリアの今後の活用について伺いたい。

A 知事 伊勢崎市にあるこのエリアは、障害のある人の福祉・教育・社会参加に関連する施設が集積しており、群馬県の障害福祉関連施策を効果的に実現していく上で、その果たす役割は大変大きいものと考えている。今後、さらに有効活用することが必要であり、このエリアの持つ可能性を最大限活かせるよう真剣に考えてまいりたい。

2. 群馬県高齢者保健福祉計画について

- ① 第9期高齢者保健福祉計画の策定について ② 地域の特性を考慮した計画の策定について

3. 教育について

- ① 県立みらい共創中学校(夜間中学)の進捗状況について ② 伊勢崎特別支援学校について(施設整備について、高等部について)
③ 高等学校における外国人生徒等への日本語指導について

4. 持続可能な交通安全施設整備について

- ① 信号機の整備の現状とラウンドアバウトに対する県警の考えについて ② ラウンドアバウトの導入について

5. 県土整備について

- ① 県道桐生伊勢崎線の整備について ② 県道伊勢崎大間々線の4車線化について

6. 学校給食への支援について

月いち委員会の県内調査(令和5年8月23日)

桐生高等学校・桐生清桜高等学校

県立高校の再編整備で桐高と桐女の統合で高いレベルの進学を目指す桐生高等学校、「自分の時間割」を作って学習する「単位制」を採用し多様な進路を実現できる桐南と桐西が統合した桐生清桜高等学校の取組について

月いち委員会の県内調査(令和6年1月25日)

群馬病院児童思春期病棟(高崎市)

児童のこころの問題について、外来、入院治療に対応している。院外の諸機関とも連携し、医療者と患者及びその家族との協働作業により児童の成長を育む取組について

県外調査(令和5年7月11日～13日)

県内調査(令和5年8月22日)

尾瀬国立公園

尾瀬の優れた景観と自然環境は、麓の片品村の温泉や食なども相まって、リトリートを推進する上で重要なコンテンツであることから、尾瀬では鹿の食害対策や植生等の現状について

県外調査(令和5年9月6日～8日)

うえむら農園出荷組合(香川県三木町)

ホワイトアスパラガスの大量出荷・安定供給を実現するために設立された組合の農産物のブランド化について

桃源郷祖谷の山里(徳島県)

重要伝統的建造物群保存地区の古民家を改修した1棟貸しの茅葺民家宿による、リトリート推進について

